

特集

動画で理解する婦人科悪性腫瘍手術の外科解剖 —腔の展開と切断ラインの決定—

企画者のことば

関山健太郎^{*1} 小谷泰史^{*2} 松村謙臣^{*2}

産婦人科の実際の特集号「外科解剖学から解き明かす広汎子宮全摘術」を2018年12月に発刊してから約5年が経過した。その企画では、イラストを豊富に掲載して、外科解剖についての読者の理解を深めることを目指した。

その後も、腹腔鏡やロボット支援下で子宮悪性腫瘍手術が行われてきた。そしてコロナ禍があったが、逆にオンラインで手術動画に基づいて議論するような機会も増えてきた。そのなかで、婦人科悪性腫瘍手術の外科解剖に関する知見が蓄積し、次第に共通言語ができてきたように思われる。特に出血をさせずにスムーズに術

野を展開するためには、「腔」や「筋膜」を理解することが必須と考えられるようになってきた。

今回の特集では、婦人科悪性腫瘍手術の外科解剖について、エキスパートの先生方に執筆を依頼しつつ、手術動画も提供していただいた。手術動画はQRコードによってアクセスができる。本誌を読み、さらに手術動画を見ることで、婦人科悪性腫瘍手術の外科解剖を深く理解できるであろう。

読者諸氏が安全かつ確実に婦人科悪性腫瘍手術を行うために、本特集号が役立てば幸甚である。

^{*1} 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院産婦人科

^{*2} 近畿大学医学部産科婦人科学教室